

令和元年度 島根県の医師確保対策の取組状況について

1. 島根県地域医療支援会議の開催（2回開催）

- 医師確保計画及び外来医療計画（素案）等の審議
- 地域枠等医師及び義務年限内自治医科大学卒業医師の派遣計画の審議
- 令和3年度に研修を開始する臨床研修病院の募集定員の審議
- 地域医療拠点病院の指定の審議
- 医療介護総合確保促進法に基づく県計画の審議
- 勤務医師実態調査の調査結果 等

2. 赤ひげバンク（医療従事者無料職業紹介所）

（1）赤ひげバンク登録者数（令和2年2月末現在）

職種	人数	職種	人数
医師	456	看護師	8
歯科医師	11	その他医療従事者	9
医学生	679	看護学生等	248

合計
1,411

（2）医師面談実績（新規分）（令和2年2月末現在）

診療科	人数	診療科	人数
内科	1	脳神経外科	1
外科	2	小児科	1
整形外科	1		

合計
6

（3）地域医療視察ツアー実績（件数）（令和2年2月末現在）

圏域	件数	圏域	件数	圏域	件数
松江圏域	0	大田圏域	1	隠岐圏域	6
雲南圏域	3	浜田圏域	3		
出雲圏域	2	益田圏域	1		

合計
16

※1人の医師が複数の圏域を視察した場合は、各圏域に計上。

(4) 医師招へい実績（令和2年2月末現在）

圏域名	人数	内訳						
		地域	専門診療科	年代	性別	勤務形態	赴任時期	
雲南圏域	2	神奈川県	総合診療科	20代	男	病院	常勤	R2.4~
		沖縄県	健診	60代	女	病院	非常勤	R1.10~
出雲圏域	4	東京都	麻酔科	30代	女	病院	常勤	R1.~
		広島県	救急・集中診療科	30代	男	病院	常勤	R1.7~
		鳥取県	消化器外科	50代	男	病院	常勤	R2.4~
		兵庫県	健診	60代	男	病院	常勤	R2.4~
浜田圏域	1	岡山県	救急・集中診療科	50代	男	病院	常勤	R1.9~
合計	7							

(5) 広報等

- ・ 県ホームページでの求人（通年）
- ・ 機関紙「島根の地域医療」の発行（年4回）
- ・ 「日本医事新報」、「メディカルトリビューン」等への医師募集広告掲載
- ・ 民間転職サイトに島根県特集ページを開設（メディカルキャスト社、【新】総合メディカル）
赤ひげバンクPR、県の医師支援情報や求人情報掲載、メールマガジン配信等を実施
- ・ 学会ブース出展（第30回日本医学会総会2019中部）



民間求人サイトの活用

学会ブース出展

3. 研修サポート制度（地域勤務医師確保枠）

地域医療に将来携わる医師、専門研修を希望する医師を招へいし、県立病院で研修後、地域勤務。

4. 小・中・高校生への動機付け

- ・(小中学生) 【ふるさと教育】(「地域医療」をテーマとした授業の実施)
- ・(中学生) 【メディカル・アカデミー】(合宿形式) 8月8日～8月10日
(サンレイク、県立中央病院、出雲市立総合医療C 34名参加)
- ・(中学生) 【学びの力向上チャレンジセミナー】 8月19日～21日
(少年自然の家 30名参加)
- ・(中学生) 【地域医療現場体験事業】 7月～8月 (12医療機関 41名参加)
- ・(高校生) 【医療現場体験セミナー】
 - 夏季 (17病院 49名参加)
 - 冬季 (8病院 16名参加)
 - 春季 (7病院で計画。現在募集中)
- ・(高校生) 【夢実現進学チャレンジセミナー】 12月25日～27日
(サンレイク、島根大学医学部附属病院 30名参加)
- ・県内高校での地域医療・奨学金制度の説明会 (9校 83名参加)

【参考 県内高校からの医学部進学状況】

入学年度	進学者数				
		島根大学	鳥取大学	自治医科大学	その他の大学
H12	41	20	6	2	13
H13	42	18	11	2	11
H14	33	11	7	2	13
H15	31	11	6	2	12
H16	23	9	4	2	8
H17	25	6	9	3	7
H18	36	23	8	2	3
H19	36	24	3	2	7
H20	42	23	2	2	15
H21	53	26	9	3	15
H22	53	28	6	2	17
H23	48	27	8	3	10
H24	53	30	7	1	15
H25	47	24	10	3	10
H26	52	33	9	3	7
H27	30	14	3	3	10
H28	39	23	6	3	7
H29	41	22	6	3	10
H30	50	28	12	2	8
H31	49	26	7	3	13

5. 医学生向け奨学金〔令和元年度新規貸与枠 32 名〕

(1) 医学生地域医療奨学金 (H18～) R1 新規貸与実績 31 名 (令和 2 年 1 月末現在)

【対象者】

- ①島根大学医学部医学科地域枠推薦入学者
- ②島根大学医学部医学科緊急医師確保対策枠推薦入学者 (H21～)
- ③島根大学医学部医学科県内定着枠入学者 (H23～)
- ④全国の医学生及び大学院生
- ⑤鳥取大学医学部医学科島根県枠入学者 (H22～)

【貸与額】

- ①～④入学金相当額 282 千円、月額 100 千円、授業料相当額 535,800 円/年
- ⑤入学金相当額 282 千円、月額 100 千円

【返還免除条件】

- ①～④卒業後 12 年以内に初期臨床研修期間を含む 9 年間 (うち 4 年間は特定地域)、県内指定医療機関で勤務
- ⑤卒業後 12 年以内に 6 年間 (うち 3 年間は特定地域)、県内指定医療機関で勤務

(2) へき地医療奨学金 (H14～H17)

【対象者】 県内居住医学生、県内高校卒業生

【貸与額】 入学金相当額 282 千円、月額 100 千円

【返還免除条件】 初期臨床研修後、貸与期間の 2 倍の期間内に、貸与期間と同年数、へき地指定医療機関勤務

(3) しまね医学生特別奨学金 (H18～H21)

【対象者】 島根大学医学部 1～5 年生

【貸与額】 1 年度 1,500 千円 (2 年度貸与可)

【返還免除条件】 初期臨床研修後、県内指定医療機関で引き続き 6 年間勤務

(4) 特定診療科医師緊急養成奨学金 (H22～H25)

【特定診療科】 産婦人科、小児科、外科、精神科、麻酔科、救急科、泌尿器科、腎臓(内)科、眼科、耳鼻咽喉科

【貸与額】 1 年度 3,000 千円

【返還免除条件】 卒業後、県内指定医療機関で初期臨床研修を実施し、その後引き続き 3 年間勤務

【医学生奨学金貸与者の状況（R2年1月末現在）】

（単位：人）

区分	H31 定員枠	医学生							医師								返還 ③	合計 (①+②+③)	(再掲) 返還 免除者	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	①	初期1	初期2	卒後 3年目	卒後 4年目	卒後 5年目	卒後 6年目	卒後 7年目	卒後 8年目 以上				②
計	32	29	28	28	32	27	29	173	31	33	26	19	26	15	11	32	193	36	402	23

【現行分】

医学生地域医療奨学金（H18～）	27	24	23	23	26	21	25	142	23	25	19	19	17	12	9	17	141	27	310	12
島根大学地域枠（H18～）	10	10	10	9	9	6	6	50	11	10	7	10	10	8	6	3	65	2	117	
" 県内定着枠（H23～）※	7	7	7	8	8	7	6	43	7	5	5						17	3	63	
鳥取大学島根県枠（H22～）※	5	3	5	1	3		5	17	3	3		2					8	1	26	
全国大学枠その他（H18～）※	5	4	1	5	6	8	8	32	2	7	7	7	7	4	3	14	51	21	104	12
緊急医師確保対策枠奨学金（H21～） 〔島根大学〕	5	5	5	5	6	6	4	31	7	6	7		3				23	1	55	

【制度終了分】

へき地医療奨学金（H14～17）																					
しまね医学生特別奨学金（H18～21）									1	2				6	3	2	15	29	8	37	11
特定診療科医師緊急養成奨学金（H22～H25）																					

（注）※は国の医学部定員の暫定増によるものを示す。

6. 自治医科大学

- ・負担金 134,000千円/年
- ・大学説明会の実施（7月～8月 県内3会場 48名参加）
- ・令和2年度自治医科大学第1次試験（1月27日～28日 サンラポーむらくも）
- ・自治医科大学卒業生の動向（令和2年4月1日予定）

	島根県内					県外			合計	死亡
	県立病院	その他の病院	診療所	行政	小計	自治医大	その他	小計		
義務年限内	6	12	1	0	19	0	4	4	23	0
義務年限後	8	28	1	2	39	1	24	25	64	3
合計	14	40	2	2	58	1	28	29	87	3

※義務年限後の残留率 $39 / 64 = 60.9\%$

（注）上記には産休育休中の者を含む。

7. 研修医等の県内定着に向けた取り組み

- ・しまね研修ナビ〔初期臨床研修プログラム説明会〕
（6月7日 於：島根大学医学部 55名参加）
- ・しまね研修ナビ〔国試対策セミナー、臨床研修病院説明会〕
（2月14日 於：島根大学医学部 100名参加）
- ・しまね専門研修プログラム説明会
（6月7日 於：島根大学医学部 25名参加（初期14名、学生11名））

(8月9日 於：松江テルサ 8名参加 (初期8名))

(2月14日 於：島根大学医学部 4名参加 (初期4名))

- ・医学生地域医療実習 (夏季：8月 30名参加 春季：3月 中止)
- ・臨床研修指導医講習会 (10月18日～10月19日 於：島根大学医学部 31名参加)

【初期臨床研修医マッチ率及び後期研修医数】

	初期臨床研修医			後期研修医	
	定員	マッチ	マッチ率	研修開始年度	人数
H15 (H16 研修医)	88	51	58%	H18	36
H16 (H17 研修医)	90	42	47%	H19	22
H17 (H18 研修医)	92	61	66%	H20	43
H18 (H19 研修医)	90	51	57%	H21	37
H19 (H20 研修医)	95	40	42%	H22	24
H20 (H21 研修医)	95	47	49%	H23	44
H21 (H22 研修医)	100	31	31%	H24	25
H22 (H23 研修医)	96	45	47%	H25	31
H23 (H24 研修医)	97	50	52%	H26	32
H24 (H25 研修医)	87	48	55%	H27	31
H25 (H26 研修医)	87	49	56%	H28	38
H26 (H27 研修医)	95	54	57%	H29	41
H27 (H28 研修医)	97	51	53%	H30	37
H28 (H29 研修医)	96	58	60%	H31	44
H29 (H30 研修医)	83	61	73%	H32	
H30 (H31 研修医)	86	64	74%	H33	
R元 (R2 研修医)	83	51	61%	H33	

8. 専門医制度

(1) 県内専門研修プログラム

- ・令和元年度 18診療領域、基幹施設10施設・35プログラム 44人採用
- ・令和2年度 18診療領域、基幹施設11施設・36プログラム 36人登録 (一次登録)

(2) 島根県地域医療支援会議 医師専門研修部会 (8月7日 島根県医師会館・TV会議)

専門部会において、令和2年度の専門研修プログラムの確認及び検証、専門医制度の改善について協議。これを踏まえ、県は、基幹施設へ連携施設の追加を要請するとともに、国を通じ関係団体へ県内の診療科別のシーリングを設けないことや、総合診療専門医制度の改善について要望 (島根県では、令和2年度のシーリングが除外)。

9. 研修医向け貸付金

(1) ①初期研修医向け (H22～H25)

【貸与額】 1年度 1,500 千円

【返還免除条件】 初期臨床研修後、県内の指定医療機関で3年間後期研修を受けること

②産婦人科を志す初期研修医向け (H23～H25)

【貸与額】 1年度 3,000 千円

【返還免除条件】 初期臨床研修後、県内の指定医療機関で5年間産婦人科医として勤務
(うち2年間はへき地)

(2) 後期研修医向け (H22～H27)

【貸与額】 1年度 3,000 千円 (上限2年度まで貸与可)

【返還免除条件】 後期研修後、県内の過疎地域に所在する特定地域医療機関で貸与回数に対応する年数と同期間勤務。過疎地域に所在する医療機関を除く指定医療機関において貸与回数に対応する年数の1.5倍の期間勤務。

(3) 産婦人科等研修医向け (H29～)

【貸与額】 1年度 2,400 千円 (初期・後期とも)

【返還免除条件】

(初期) 初期臨床研修後、県内の指定医療機関の産婦人科で3年間勤務

(後期) 後期研修後、県内の過疎地域に所在する特定地域医療機関の産婦人科で貸与回数に対応する年数と同期間勤務。または、過疎地域に所在する医療機関を除く指定医療機関の産婦人科において貸与回数に対応する年数の1.5倍の期間勤務。

(後期) 初期研修医に対する資金の貸与を受け、引き続いて後期研修医に対する資金を1回受けた場合は、後期研修医に対する研修支援資金の貸与を受けた年度の翌年度から、県内の過疎地域に所在する特定地域医療機関の産婦人科で貸与回数に対応する年数と同期間勤務。または、過疎地域に所在する医療機関を除く指定医療機関の産婦人科において貸与回数に対応する年数の1.5倍の期間勤務。

【貸与実績】 (令和2年2月末現在)

初期研修医向け : 16名 (H22 : 6名、H23 : 7名、H24 : 3名、H25 : 0名)

後期研修医向け : 28名 (H22 : 6名、H23 : 7名、H24 : 9名、H25 : 2名、
H26 : 2名、H27 : 2名)

産婦人科等研修医向け : 9名 (H29 : 3名、H30 : 4名、R1 : 2名)

10. しまね地域医療の会

・第1回：9月21日（土）

【参加者】 県立中央病院 37名、隠岐病院 3名・島前病院 1名（TV会議）

・第2回：2月1日（土）

【参加者】 出雲医師会館 45名、隠岐病院 2名・島前病院 1名（TV会議）



11. 地域医療拠点病院

圏域	病 院 名	指定日
松江	松江赤十字病院	H15. 4. 1
	安来市立病院	H15. 4. 1
	社会医療法人昌林会 安来第一病院	H22. 1. 1
雲南	雲南市立病院	H16. 2. 12
	奥出雲町立奥出雲病院	H16. 2. 12
	飯南町立飯南病院	H16. 2. 12
	医療法人陶朋会 平成記念病院	H19. 8. 30
出雲	県立中央病院	H15. 4. 1
	島根大学医学部附属病院	H16. 2. 12
	出雲市立総合医療センター	H16. 2. 12
大田	公立邑智病院	H15. 4. 1
	医療法人仁寿会 加藤病院	H15. 4. 1
	大田市立病院	H18. 7. 31
浜田	独立行政法人国立病院機構浜田医療センター	H15. 4. 1
	社会福祉法人恩賜財団島根県済生会江津総合病院	H20. 1. 1
	社会福祉法人島根整肢学園西部島根医療福祉センター	H20. 4. 1
益田	公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院	H15. 4. 1
	益田赤十字病院	H22. 1. 1
	社会医療法人石州会 六日市病院	H22. 1. 1
隠岐	隠岐広域連合立隠岐病院	H15. 4. 1
	隠岐広域連合立隠岐島前病院	H16. 7. 14
合計	指定病院 21	

1 2. 代診医の派遣（令和2年2月末現在）

年度	延べ日数	派遣診療科 内訳			
		総合診療科	産婦人科	精神科	外科
H20	280	90	20	152	18
H21	301.5	93.5	21	172	15
H22	464	203	38	215	8
H23	697	323	13	355	6
H24	396	118	37	241	0
H25	458	203	10	245	0
H26	603	233	0	258	112
H27	462	142	89	231	0
H28	400	167	0	233	0
H29	393	264	0	116	13
H30	371	302	0	57	12
R1	450	434	0	12	4

1 3. 医療介護総合確保促進計画に基づく事業

- ・ 島根大学医学部寄附講座の設置
- ・ 医学生向け奨学金の貸与
- ・ 研修医向け研修資金の貸与
- ・ 地域医療支援センターの運営
- ・ 地域が行う医療従事者確保の取組みへの支援 等

1 4. 国への要望

○県の重点要望〔厚生労働省、文部科学省〕（5月、11月）

- ・ 医師偏在指標により基金の配分や対策の実施に制約を設けることなく、都道府県が地域の実情に応じた柔軟な医師確保対策が実施できるよう、必要な財源を十分に配分し、責任を持って支援を行うこと。
- ・ 医師偏在指標や目標医師数、これらを用いた医師偏在対策の手法について、地理的条件や診療科の偏在等、地域の実情を十分に反映するものとなるよう、見直しを行うこと。
- ・ 医学部の地域枠のあり方や医療従事者の働き方改革に係る検討も含め、医療人材の偏在解消など地域医療の確保に向けた施策を強力に推進すること。
- ・ 医師少数区域で勤務した医師を国が認定する新たな制度については、へき地等の勤務も対象にするとともに、認定医師を管理者要件とする医療機関を地域医療支援病院など一部の病院に限らず、すべての病院に拡大するなど実効性のあるものとする。

- ・専攻医の定員設定にあたっては、医師の絶対数が少数の県にはシーリングを設けないなど適切な設定がなされるようにすること。
- ・医師養成体制の充実や大学によるへき地医療支援を促進すること。 など

○全国衛生部長会を通じた国への要望

- ・医師や看護職員の確保・育成について要望（5月、2月）

○全国知事会を通じた国への要望

- ・医師や看護職員等医療従事者の養成・確保について要望（8月）
- ・「健康立国の実現に向けて～持続可能な社会保障制度の構築に向けた特別決議～」において「医師確保対策に関する緊急提言」を提出（7月）
- ・「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」において、医師偏在対策について要望（11月、2月）

○中国地方知事会を通じた国への要望

- ・「医師確保対策に関する緊急要望」を国へ提出（7月）
- ・地域医療確保に向けた国の施策に関する提案（8月）
- ・地域医療の確保に向けた共同アピールの採択（10月）